

科目名	子どもの理解と援助（保育士必修：幼稚園教諭二種必修）				
授業形態	演習	学年	1		
開講時期	2021年度 前期	単位数	1		
担当教員	郭 小蘭				
内容および計画	<p>保育実践において、子ども一人一人の実際の姿に応じた発達や学びの把握が保育の出発点である。子どもの援助において子どもの発達や心情理解をふまえた上で共感的で応答的な関わりが求められる。具体的に学ぶ内容は次のとおり。①子どもを理解する視点②子どもを理解するための具体的な方法③子どもの理解に基づく発達援助。学習方法は教科書内容の予習・復習、視聴覚教材の活用、グループワークによる事例検討である。</p>				
1	保育における子ども理解の意義				
2	子どもの理解に基づく養護と教育の一体的展開				
3	子どもに対する共感的理解と保育				
4	子どもの生活と遊び				
5	保育の人的環境としての保育者と子どもの発達				
6	子どもの集団での育ち				
7	葛藤やつまづき				
8	保育の環境の理解と構成				
9	環境の変化や移行				
10	子どもを理解するための観察・記録・省察・評価				
11	職員間の対話				
12	保護者との情報共有				
13	発達の課題に応じた援助と関わり				
14	特別な配慮を要する子どもの理解と援助				
15	発達の連続性と就学への支援と総括				
<b>教科書</b>					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	『子どもの理解と援助 演習ブック』	松本峰雄 監修	ミネルヴァ書房	9784623090679	2021
授業のレジュメ					
参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『幼稚園教育要領解説』 文部科学省編 フレーベル 2018</li> <li>・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省編 フレーベル 2018</li> <li>・『保育所保育指針解説』 厚生労働省編 フレーベル 2018</li> <li>・ 視聴覚教材の活用</li> <li>・ その他適宜紹介する</li> </ul>				
<b>成績評価</b>					
	評価方法	割合(%)			
	リアクションペーパー	20			
	中間レポート	20			
	課題レポート	50			
	授業中の取り組み	10			

<b>学習到達目標</b>	<p>保育実践において、実態に応じた子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義、子どもの体験や学びの過程において子どもを理解する上での基本的な考え方、子どもを理解するための具体的な方法、子どもの理解に基づく保育者の援助や態度の基本、これらのことを具体的に理解することができることを目指す。授業や予習・復習を通して多角的に考える力を養う。</p>
<b>先修条件</b>	
<b>実務経験</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会津区域の小中高等学校で約13年間スクールカウンセラーを務めていた。</li> <li>・会津児童園で約4年間心理治療士を務めていた。</li> <li>・会津大学短期大学部で2年間非常勤カウンセラーを務めていた。</li> <li>・福島県会津学鳳中学校高等学校の学校評議員を6年間務めていた。</li> <li>・会津若松市子ども・子育て会議の委員を3年間、現在も務めている。</li> </ul>
<b>その他</b>	